

10月6日のウクライナ情報

安齋育郎

●真実を語ろうとするものは、時に危うい(2022年10月4日)

先日紹介したフランス人ジャーナリストのエイドリアン・ボクエットさんが、トルコのイスタンブールで極右民族主義者系のウクライナ人にナイフで切りつけられる暴行を受けたようです。

〈ボクエットさん談〉

応援ありがとうございました！イスタンブールでは、SBU(ウクライナ保安庁)過激派とウクロナチが私を殺そうとしました!!! 私の仕事を広め続け、真実を広め続けてください！

私はこれらのテロリストを恐れていません!!

私は回復して、ドンバスに戻って仕事を続けます、約束します! あなたは真実を示さなければなりません、ドンバスの子どもたちは私を必要としています!

私はあきらめません、約束します!!

皆さんが私を助けることができます-ありがとう!!! あなたが必要です。できるだけ早く回復してドンバスに戻るために、あなたの助けが必要です。どんな小さな助けも私にとって大きなものになるでしょう!



●2019年 DW ニュース アメリカのノルドストリーム制裁(投稿2022年10月4日)

トランプ大統領の制裁でガスパイプライン「ノルドストリーム 2」の工事を停止

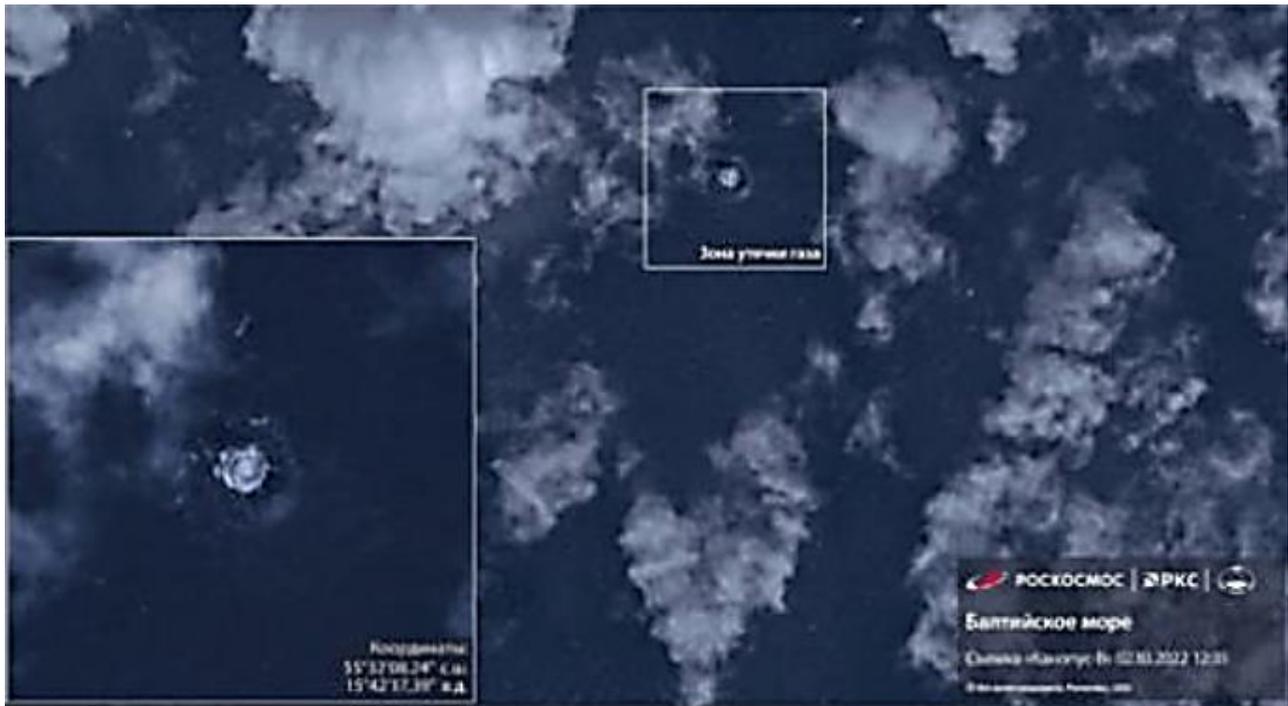
<https://odysee.com/@Jano:7/DW:91>



●衛星から見たバルト海(2022年10月)

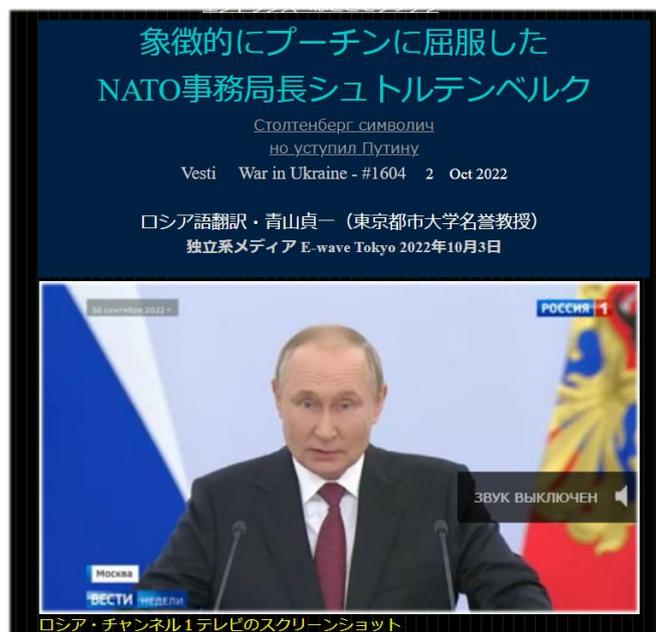
ロスコスモスは、ノルドストリーム 1 と 2 のパイプラインの爆発を受け、ガス漏れの監視を続けてい

る。バルト海と漏洩の痕跡を示す画像は、テレグラムチャンネルで公開された。10月2日にKanopus-B衛星が撮影したものです。



●NATOシュトルテンベルグ、プーチンに屈した？(2022年10月3日)

ノルドストリームス事故とその影響は深刻、ロシア安全保障理事会でも取り上げられた。プーチンが妨害工作の実行者について明確に発言したことは、議論の本質を表している。それによればアングロサクソン(米英)にとり、今までの制裁は十分ではなく、破壊工作に転じたとも言える。



●解放されたマリウポリ写真集

<http://www.eri.co.jp/independent/Ukraine-war-situation-aow664.html>

マリウポリの人々に関する14枚の写真があります。

●ラブロフ外相、テレビ放送『スヴェズダ』の質問に答える(2022年10月4日)

Q: プーチン大統領は今日、自分の演説によって西側は頭を冷やすことになるだろう、と述べました。外相もそう思われますか。

A: そうなることを強く願います。この演説は、無視できるものではありません。我々は海外駐在大使すべてに対して、演説を広く拡散し、国連、欧州安全保障協力機構等の国際機関の文書として発表するよう指示を出しました。真剣な政治家がこの演説を『最初から終わりまで』読んでくれることを願います。何か理解できないことがあった人々にとっても、多くのことが完全に明確に分かるようになるはずです。

Q: プーチン大統領は、ウクライナとの平和交渉を行う意向について述べました。この件についてはどうコメントなさいますか。

A: いまだかつてロシアが交渉を拒否したことはありません。この点については、プーチン大統領がこの数ヶ月間に何度も演説の中で述べています。大統領は次のように言っています。「我々は交渉を拒絶していない。交渉を拒絶する者は、拒絶が長引くほど最終的に合意がむずかしくなることを知っておくべきである。」この言葉は真剣に受け止めるべきだと私は信じています。



●北朝鮮が住民投票を支持(2022年10月4日)

北朝鮮「米国は住民投票に関する国連決議案で自主的な国々の内政に干渉している」「われわれはロシア政府の立場を支持する」



●ル・ペン「対口制裁は非生産的だった」(2022年10月4日)

フランス極右政党「国民連合」のマリーヌ・ル・ペン党首の発言:「対口制裁は非生産的だった。実際

はこの制裁のおかげでロシアは石油輸出で追加的に 400 億ユーロ(5 兆 7100 億円超)を稼いでではないか！ 制裁は効果がないだけではない。フランス市民自身に制裁を強いている。我々にとってこの冬は厳しくなる。だが次の冬はおそらくもっと厳しい」(BFMTV が放映)



●フランスでは9月にも NATO 脱退、EU 脱退デモが(2022年9月20日)

フランスでは9月17日に NATO 脱退、EU 脱退(Frexit)の反グローバリズムの大規模デモ行進が行われたが、コロナ対策への抗議デモと同じように、主流メディアが無視した。

https://twitter.com/j_sato/status/1572090547854249984?t=XyZPyHDmEKeI21rsKo2mhQ&s=09



●マスク氏、ウクライナでの「スターリンク」展開にかかった費用を明らかにする (Sputnik、2022年10月4日)

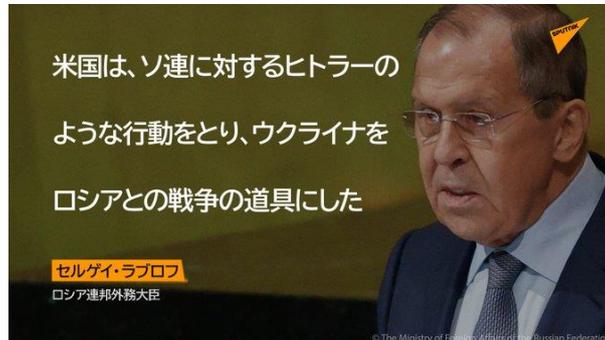
大富豪のイーロン・マスク氏は SNS で、同氏率いる米スペース X 社はウクライナで衛星インターネットサービス「スターリンク」を展開するために 8000 万ドル(約 115 億 8200 万円)を「ポケットマネー」から出したことを明らかにした。

<https://sputniknews.jp/20221004/13203577.html?s=09>



●ラブロフ、国会演説(2022年10月3日)

米国は今日、かつてヒトラーがソ連侵攻のために欧州の大部分を武装させたように、西側諸国全体を事実上服従させ、ウクライナをロシアとの戦争の道具にするよう駆り立てている。ロシアのラブロフ外相が3日、国家院の本会議でこのように述べた。



●人は変われば変わるもんだ(投稿:2022年9月22日)

大統領になる前のゼレンスキー ”ウクライナ人とロシア人は同じ人間だ”

<https://www.youtube.com/watch?v=GdtLmaliyfM>



選挙公約と真逆の政治 ゼレンスキー政権の真実

●ゼレンスキーの選挙公約

- ・ロシアのプーチン大統領と対話します。
- ・ロシアと平和的關係を築く。
- ・アゾフ連隊など暴力的な民兵をすべて一掃します。

ところが当選すると真逆の政治を行なった。

●ゼレンスキー大統領の独裁制

すべての野党の活動を禁止する大統領令

すべてのテレビ局を統合して管理・情報統制。

ウクライナでは国民はかたよった情報しか知らず、

野党の反対意見も封じられている。



英雄ゼレンスキー